

希望の航路



かしこく つよく

さわやかに 伸びゆく子 “

文責 校長 大平 啓二

令和8年度、野田小学校との統合により加津佐町内で唯一の小学校として新たな船出を果たした加津佐小学校。あれから4ヶ月近く。未来という大海に踏み出した一歩は、希望の航路となりました。一学期を振り返ります。

「つながり」と「成長」が芽生えた！学期でした



新学期のスタート時に、「生きるを前向きに！加津佐小」のもと、『笑顔いっぱい・チャレンジいっぱい・ありがとういっぱい・キラリ名人いっぱい』の加津佐小学校にしていこうと話したのが、つい最近のようです。

子供たちは、毎日、前向きに、なりたい自分をめざす中で、人との出会いや協力の中で、失敗も成長の機会とし、努力を重ねる過程を経験してきました。運動会をはじめ、学年ごとの教育活動や毎日の授業こそ、「つながり」と「成長」の場となったといえます。子供たちの成長には、学校の教育活動に対する保護者の皆様のご理解とご協力がありました。心より感謝申し上げます。



述べ約600人超 教育活動を参観したり、協力してくださったりした方々の延べ人数（概数）です

600という数字は概数ではありますが、各行事や授業参観、教育週間に来校されたり、協力してくださったりした保護者や地域の方の、学校側が把握している範囲での人数です。

本当に多くの方が、子供たちを見守り、寄り添ってくださったことがわかります。私は、地域まるごと学び場に本物に出会う教育活動を充実させたいと常日頃考えている次第ですが、それを実現する上で協力していただける土壌があることは加津佐小学校の強みといえます。

2学期は、総合的な学習の時間の見直しを図り、探究的な視点での単元開発や単元マネジメントに取り組めます。保護者や関係団体、地域の皆様には、今後もお声かけすることがあるかと存じます。『ともに、子供のために！』そのエネルギーで、学校から地域を元気にする教育活動の実現にお力添えいただきますようお願いいたします。

親父の会による溝の泥あげ作業 7/11(土)

早朝7時から9時過ぎまで、30人を超える多くの人に集まっていただき、作業に取り組んでいただきました。

おかげで側溝の中の4年分の溜まった土がなくなりました。重機も出動し、側溝の蓋上げや、土の除去に大きな力を発揮してくださいました。暑い中、本当にありがとうございました。



加津佐小学校 令和8年度 スクールビジョン

「生きるを前向きに！加津佐小」

つながりと成長で、子どもの日常を前向きにひらく学校
＜ 実現するための4つの姿 ＞

- ①笑顔いっぱい ②チャレンジいっぱい
③ありがとういっぱい ④キラリ★名人いっぱい

【学校評価】 アンケートのご協力ありがとうございました。結果と考察については、登校日の日に配付いたします。アンケートの結果やご意見も参考に2学期の学校経営を進めてまいります。

裏面もご覧ください。



笑顔とけじめのある子供たちの姿が、「つながり」と「成長」を生み出した前向きな1学期でした。